

くらしの願いで
市政を変える



日本共産党

京都市議員

かとう

加藤 あい 市会

市議員4期。現在、市会運営委員会副委員長、総務消防委員。1975年12月9日京都市に生まれ、育つ(43歳)。紫野高校、佛教大学社会学部卒業。民主青年同盟京都府委員会副委員長、朱い実保育園保護者会副会長など歴任。

加藤あい   



自衛隊への若者の個人情報提供やめよ
原発に依存したエネルギー対策の転換を

共産		8人
自民		0人
国民		0人
公明		1人
京都党		2人
無所属		1人

京都市議員のうち
女性は共産党市議員団が
No.1 (現在8人)です。

女性の権利ひとすじに …4期16年。

子育て議員の先駆けとして、女性の地位向上にとりくんできました。私の出産を機に市会会議規則が改正され、会議の欠席事由に「出産」が明記されました。2015年には全国の標準市議会規則に反映されました。

6年前に倉林明子現参議院議員から議会運営委員をバトンタッチし、3年前から副委員長を務めています。

「LGBT(性的少数者)ばかりになったら国がつぶれる」などの自民党議員の人権侵害の発言が相次いでいます。党議員団は個人の尊厳を守るため、性別記載欄の削除や、パートナーシップ宣誓の実現などを求めてきました。昨年12月には、「多様な性に関する職員ハンドブック」が発行されました。個人が尊重される社会をつくるために引き続き、力をつくします。

優先すべきは くらし応援と災害対策

1 子育て応援型社会を

「小学校のような給食を中学校でも! 実態調査をすべき」
—繰り返し議会で求めてきました。

この20年来、まともな実態調査が行われていませんでしたが、ようやく京都市が調査を行う方向を示しました。

子育て応援充実で、若い世帯が住み続けられる街をつくるのが重要です。

子育て応援 3つの提案

- ❖ 子どもの医療費は中学校卒業まで無料 18億円でできます!
- ❖ 小学校のような全員制の中学校給食 約200億円の年次計画を!
- ❖ 市独自の奨学金創設と返済支援

2 福祉・医療を大切に

敬老乗車証改悪ストップ署名は4万筆を超えました。引き続き、市民の宝 敬老乗車証を守り、高い国保料・介護保険料引き下げに力をつくします。



3 いのち守る災害対策を



4年前に発生した北白川仕伏町の土砂災害の時、被災者の実態をもとにくりかえし要望するなかで、京都市独自の被災者住宅再建支援制度ができました。災害が頻発した昨年、党市議員団は災害の現場にただちに駆けつけ、復旧に力をつくすとともに、すべての災害に適用、恒久化させてきました。倒木被害の対策や体制の強化など課題が山積しており、これまでの延長線上でない予算措置や拡充を求めています。

緊急に避難場所改善を

- ①トイレの洋式化、エアコン・テレビ設置
- ②毛布など最低限の生活必需品配備

災害対応で人手不足が明らかなのに
…職員削減?
「今後5年で800人削減とあるが、まだまだ足りない」
維新の会市議(総務消防委員会)

大型公共事業を見直せば、財源はあります

自然・環境破壊、地下水への影響など課題山積の北陸新幹線計画 2兆1000億円
堀川地下バイパストンネルなど